

Google広告 学習ロードマップ

どの資格をどの順で受けるかを決め、受ける前に済ませることと、取ったあとの更新までを管理するための7枚

この7枚でできること

- ☐ 受験の条件（75分・80%・1年・翌日に再受験）を確かめ、自分の受験日と更新日を書ける
- ☐ 公式に載っている分野から、自分が受ける分野と順番を決められる
- ☐ 受験の5ステップと、落ちたときに見直す場所が分かる
- ☐ 資格の前に済ませる4つ（粗利・誰がやるか・アカウント・計測）を先に片付けられる
- ☐ 資格では身につかないことを知ったうえで、講座のどの回で補うかが分かる

使う順番

5ページで資格の前に済ませる4つと、取るかどうかを決める → 取るなら2ページに受ける分野と日付を書く → 3ページの手順で受ける → 学習中は4ページの用語メモを使う → 6ページで落とし穴を確かめる。

受ける前に、7ページの確認先でSkillshopの一覧を自分で開いてください。分野の名前は入れ替わります。

目次

2	試験の基本と、受験計画表 時間・合格ライン・期限、公式の分野、受ける順番、自分の日付を書く表
3	受け方5ステップと勉強のしかた 当日のチェック、勉強の4つ、いまの状態ごとの目安
4	分野ごとに問われる中身と、用語メモ 6分野の中身と講座の回、分からない用語をまとめて調べる表
5	資格の前に済ませる4つと、取るかの判定 計測と予算の計算が先。5つの立場で取る・後回しを決める
6	戻れないこと・慌てること、資格で埋まらないもの アカウント・75分・1年の期限、資格と実務のズレ、穴3つ
7	無料で学べるものの地図と、確認先 4つの学習先の役割、取ると変わることに、公式の確認先

数字と決まりの出どころ

この資料の数字と決まりは、記事「第5回 無料で学ぶ・Google広告認定資格」で、Google広告の公式ヘルプを2026年8月30日に確認したもののだけです。分野の一覧はこの日に公式ヘルプに名前が挙がっていたもので、Skillshop側では別の名前で並んでいる場合があります。

試験の条件（公式ヘルプ）

公式に名前がある分野（受けるものに印）

項目	内容	分野	何を問われるか	印
受験料	公式ヘルプに記載なし（Skillshop上では無料で受けられる）	検索広告	検索結果に出す文字の広告。キーワード・入札・広告文	☐
制限時間	75分	ディスプレイ	他社サイトやアプリに出す画像の広告	☐
合格ライン	80%以上	動画	YouTubeに出す動画の広告	☐
有効期限	1年	ショッピング広告	商品の写真と価格を出す広告	☐
更新の方法	同じ分野の理解度テストに再び合格する	アプリ	アプリを入れてもらうための広告	☐
落ちたとき	1日後から再受験できる（回数の制限は公式ヘルプに書かれていない）	プロフェッショナル認定資格	上級者向け。代理店のバッジ要件には数えられない	☐

合格ラインの80%は、50問前後の試験なら10問までしか間違えられない水準です。全部受ける必要はなく、自分が出す広告の分野だけで足ります。

受ける順番

順	分野	理由
1	検索広告	いちばん基本。ここの考え方がほかの全部の土台になる
2	測定にあたる分野	コンバージョンの考え方。ここが分らないと数字が読めない
3	自分が出す種類（ディスプレイ／動画／ショッピング／アプリ）	出さない分野は後回しでいい
4	プロフェッショナル	上の3つが終わってから

自分の受験計画（取得日から1年で切れるので、更新日まで書く）

分野（Skillshopでの名前）	受ける予定日	合格した日	有効期限	更新の勉強を始める日

有効期限は取得日から1年。期限が近づくと通知が来ますが、通知に頼らずカレンダーに入れます。更新は同じ分野の試験にもう一度合格するだけで、新しく増えた機能が問われるので、更新の勉強がそのまま最新情報の確認になります。

受け方5ステップと勉強のしかた

受験の当日まで

受け方の5ステップ（済んだら印）

#	ステップ	中身	気をつけること	済
1	Skillshopを開く	skillshop.exceedlms.com が入口。Googleアカウントでログインする	どのGoogleアカウントで受けるかを先に決める	☐
2	Google広告のカテゴリを開く	トピックの一覧から「Google 広告」を選ぶ。学習コースと認定試験が並ぶ	分野の名前は自分で一覧を見て確かめる	☐
3	学習コースを一通り見る	動画と読み物で、章ごとに小さな確認問題が付いている	いきなり試験より、先にコースを見たほうが結局速い	☐
4	認定試験を受ける	制限時間は75分	始めると止められない。途中で閉じると受け直し	☐
5	合格すると認定証が出る	Skillshopのプロフィールに並び、PDFでダウンロードできる	取得日と有効期限が入っている	☐

落ちたときにやること 1日後から受け直せます。ただ、そのまま受け直しても同じところで落ちます。試験のあとに弱かった分野が表示されるので、その分野の学習コースだけ見直します。全部やり直す必要はありません。

落ちた日	弱いと表示された分野	受け直す日

勉強のしかた4つ

#	やること	具体的に
1	管理画面を開きながら読む	用語が出てきたら、その画面を実際を開く。マッチタイプならキーワードの画面、品質スコアならキーワードの列に表示させる
2	分からない用語をその場で調べない	印だけ付けて、章の終わりでまとめて調べる（4ページの用語メモ）
3	確認問題を飛ばさない	本番と考え方が同じ。ここで間違えた項目は本番でも間違える
4	一度落ちてから本気で読む	無料なので、まず受けて弱い分野を知ってから読むと読む場所が絞れる

いまの状態ごとの目安（当てはまるものに印）

状態	目安	印
管理画面を一度も触ったことがない	教材を通して読んでから受ける。数時間はかかる	☐
出稿した経験がある	教材をざっと見て、知らない用語だけ潰す	☐
毎日運用している	そのまま受けても通ることが多い	☐

完璧にしてから受けるより、一度受けてどこが分かっているかを知るほうが速いです。受験料は無料なので、この使い方ができます。

名前は変わることがあるので、中身のほうを覚えます。右の列は、この講座で同じ中身を扱う回です。

分野	よく問われる中身	この講座での対応
検索広告	キーワードのマッチタイプ／広告ランクと品質スコア／レスポンス検索 広告／自動入札の選び方	第15回～第23回
測定にあたる分野	コンバージョンの定義／タグの仕組み／アトリビューション／拡張コンバージョン	第10回～第12回・第39回
ディスプレイ	オーディエンスの種類／配信面／クリエイティブのサイズ	第26回・第31回
動画	YouTubeの広告フォーマット／課金の仕組み／視聴の測り方	第27回
ショッピング広告	Merchant Centerとの関係／商品データの要件／入札	第28回
アプリ	インストールの計測／自動化の範囲	第29回

対応する回が講座の中盤以降に固まっている 資格の範囲は「機能の使い方」です。「出すかどうか」「いくらまで出すか」「計測を入れる」は資格の範囲の外なので、5ページの4つを先に済ませます。

用語メモ（読みながら印だけ付け、章の終わりでまとめて調べる）

分からなかった用語	出てきた章	調べた意味（ひとことで）	開いた管理画面の場所

右端には、その用語が出てくる管理画面の場所を書きます。画面と言葉がつながると忘れなくなります。分からない項目は、管理画面の右上のヘルプのマークを押すと、いま開いている画面の説明が出ます。

資格の前に済ませる4つと、取るかの判定

順番は計測が先

資格の前に済ませておくこと4つ

#	やること	講座の回	なぜ先か	済
1	商材の粗利と、1件にかけてよい上限を計算する	第3回	Googleの教材には出てこない。自分の会社の数字だから	☐
2	任せるか自分でやるかを決める	第4回	誰が読めるようになる必要があるかが決まる	☐
3	アカウントを作る（無料・出さなければお金はかからない）	第6回	画面を見ながら学ぶほうが速い	☐
4	コンバージョンの計測を入れる	第10回～第12回	勉強が楽しくて計測が後回しになる形がいちばん多い	☐

資格の勉強は楽しいので、そこから始めて肝心の計測や予算の計算が後回しになることがあります。順番としては計測が先です。資格はそのあとでも遅くありません。

取ったほうがいい人／後回しでいい人（自分の立場に印）

こういう人	どうするか	理由	印
これから自分で運用する	検索広告だけ先に取り	用語が通じるようになる	☐
すでに代理店に任せていて、話が分からない	検索広告と測定の2つ	打ち合わせが楽になる	☐
広告の仕事に就きたい／転職したい	取る	無料で、履歴書に書ける材料になる	☐
もう出稿していて、数字も読めている	後回しでいい	先に第10回の計測を片付けるほうが効く	☐
まだ商材の粗利を計算していない	後回し	第3回を先に	☐

代理店にとっては義務、事業者にとっては任意

代理店

Google Partner のバッジには「アカウント担当者の50%以上が認定資格を持っていること」という要件があります。担当者が資格を持っているのは当たり前で、「資格保有者が在籍しています」は選ぶ基準になりません（第4回）。

広告を出す側

完全に任意です。持っていなくても広告は出せ、成果にも直結しません。それでもすすめるのは、マッチタイプ・品質スコアといった言葉が打ち合わせで通じるようになるからです。

代理店の資格は「いま有効か」で見る 有効期限は1年です。資格の話が出たら、持っているかではなく、取得日と有効期限を聞きます。

聞いた相手	分野	有効期限

戻れないこと・知らない慌てること		
やりがちなこと	何が起きるか	代わりにやること
会社のGoogleアカウントで受ける	退職や異動でそのアカウントが使えなくなると、認定証も見られなくなる	受ける前にどのアカウントにするか決める
時間がないときに試験を始める	75分は始めると止められない。途中で閉じると受け直し	75分が確実に取れるときに始める
一度取ったら一生ものと思う	有効期限は1年。切れたものを履歴書に書く、確認されたときに困る	取得日から1年をカレンダーに入れる。通知に頼らない
記事に書いてある分野の一覧を信じる	Googleの側が入れ替えている。Skillshopのほうが先に新しい名前を出す	受ける前にSkillshopの一覧を開く
試験の答えを探して覚える	通っても、管理画面の前で判断できるようなにはならない	落ちたら、弱いと表示された分野の学習コースだけ見直す
資格の勉強から始める	計測や予算の計算が後回しになる	5ページの4つを先に済ませる

資格で身につくことと、実務で毎週やることのズレ

資格で身につくこと	実務で毎週やること
用語と仕組みが分かる	検索語句の一覧を開いて、要らない言葉を止める
どの機能が何のためにあるか分かる	効いている広告文を残し、効いていないものを入れ替える
設定項目の意味が分かる	予算をどのキャンペーンに寄せるかを決める
—	止める判断をする

資格は地図が読めるようにしてくれます。実際に歩くのは別の技能です。毎週の実務の大半は、キーワードと除外キーワードの出し入れです（第4回）。

資格では埋まらない穴3つ

#	穴	どうするか
1	自分のお金が動かないので、判断の重みが分からない	試験の中では予算を増やす選択肢と減らす選択肢は同じ重さ。実際には自分の会社のお金が減る
2	画面が変わる	教材が追いつくまでに時間差がある。いつ時点の画面かを確かめる
3	自分の商材の判断は出てこない	粗利から1件にいくらまで使えるかの計算は第3回で

変わらないこと 成果は変わりません。資格を取った翌日に、広告の数字が良くなることはありません。

無料で学べるものの地図

学習先	教えてくれること	教えてくれないこと
Skillshop	機能と用語の体系。認定資格が取れる	事業側の判断。実際の失敗例
Google広告ヘルプ	各設定の正確な仕様。いま何が使えるか	どれを選ぶべきか
管理画面の中のヘルプ	目の前の画面の項目の意味（右上のヘルプのマーク）	全体の流れ
この講座	ゼロから出稿して改善を回すまでの一本道と、実際の数字	—

機能の説明はSkillshopと公式ヘルプでほぼ全部無料で手に入ります。この講座が足しているのは「どれを選ぶか」と「実際にいくらかかって、どう失敗したか」の2つなので、資格と講座は競合しません。資格を取ってから講座を読むと、用語の説明を飛ばせるので速いです。

取ると変わること

場面	何が変わるか
代理店との打ち合わせ	用語を聞き返さずに済む。質問の質が上がる
社内で説明するとき	「Googleの認定資格の内容によると」と言えるので、話が通りやすい
転職・就職	無料で書ける材料が1つ増える。実務経験の代わりにはならない
自分で運用するとき	設定画面の項目の意味が分かるので、迷う時間が減る

確認先（2026年8月30日確認。受ける直前に開く）

用途	URL (https:// を付けて開く)
認定資格について（時間・合格ライン・期限・分野）	support.google.com/google-ads/answer/9702955?hl=ja
Google Partner の要件（担当者の50%以上が資格）	support.google.com/google-ads/answer/9702452?hl=ja
Skillshop（受験する場所）	skillshop.exceedlms.com

次に読む回

第6回（Google広告のアカウントを作成する）。作る前に決めておかないと、あとで作り直しになることが3つあります。

相談したい方へ

どこから学ぶかを一緒に決めたい方や、設定と毎週の改善まで任せたい方は、この公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。